



広報

なぎじん

No. 88

1983年 3月

村章

(毎月1日発行)



▲村立仲尾次保育所で園児と交流するリゾート大学沖縄酒田村の皆さん

恒例のリゾート大学沖縄酒田村が今年も開設され、雪の山形県から高橋三吉団長以下35名が2月18日村を訪れた。19日には村内を視察観光し、途中仲尾次保育所で記念植樹、夜は歓迎式、20日は講演会にのぞみ、21日伊江村へ向った。

今帰仁村の人口(昭和58年1月31日現在)

人口 9,860人 (+13)

()内は前月比



5,002人(+2)

4,858人(+11)

世帯数 2,768戸(-6)

編集発行：今帰仁村役場総務課秘書広報係
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101
印刷：沖縄高速印刷株式会社
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

今月の主な内容

- 二・三 進む五十七年度の村の事業
村道・農道整備・モデル事業
林業特別対策事業など
八六人が出場
盛り上がった庭球選手権大会
泣いてます。あなたの家族が友人が
死亡事故が前年の3.5倍に――本部署管内
今帰仁の農業 シリーズ ②
葉たばこ
- 七 盛り上がる栽培意欲
村民コーナー私の一言
理想の祭りを行うにあたって
字平敷八八 大城千栄
- 八・九 古文書への招待
薩摩軍の今きじん通過記録②
若き後継者たち⑨
- 十 葉たばこ・菊づくりに励む
謝名の国吉勝美さん
- 十一 所得税・贈与税の
納税は三月一五日まで

進む57年度の村の事業

村道・農道整備、モデル事業、林業特別対策事業など

村では、昭和五十七年度事業として、モデル事業、農道・村道整備、漁港整備、林道開設、草地開発、水道改良事業など、豊かな村づくりの一環として、数多くの基盤整備を推進してきました。

今月号では、五十七年度を締めくくる月として、今年度行われた事業について紹介したいと思います。なお、紙面の都合で全部を紹介できませんので、公共事業のあらましについては下表を参考にしてください。(五十七年四月発行広報七七号を並べて見るとわかりやすいと思います。)



▲古宇利島の表玄関に位置する農村環境改善サブセンター

古宇利にサブセンター

農村総合整備モデル事業の五十七年度事業として、待望の農村環境改善サブセンターが古宇利に建設されました。古宇利は離島で、自然的・経済的・社会的にも孤立した地域になっており、環境整備を効果的に推進す

るための拠点施設として設置されたもの。
サブセンターは古宇利港の正面に位置し、建面積五三・四四平方メートル(二階建て)で、総事業費は一億八千九百九十九万五千円、建設費が七千九百九十九万五千円、電気工事が千五百二十万二千円、設備工事が八百万円となっており、残りは、調査・設計委託費、工事管理委託費など。工事は、建設工事―島政建設、電気工事―金良電化センター、設備工事―渡慶次電気工事が請負っており、二月末に完成することになっています。

林道の開設さらには林業特別対策事業も

民有林を開発し地域林業の振興を図る目的で、林道開設事業として仲尾次尾山林道(延長六一三メートル)が開設されました。総事業費は三千五百二十七万円で、八十%が国補助、十%が県補助、十%が村負担となっています。

また、林道改良事業として、乙羽山林道の改良(延長四二〇メートル)がなされました。これは、生活環境保全林整備事業(広報七六号参照)との関連を通して他面的な機能の促進を図ろうというものです。事業費は七九九万七千円で、三十%が国、四十%が県の補助、三十%が村負担となっています。

村林業の収益性の向上と林業所得の増大を期するため、林業振興特別対策事業が五十六年度

六ヶを造成

から導入されていますが、今年度は七十二平方メートルの作業用建物及び機械保管庫、ほ場内の排水施設(三八二メートル)散布機一式、ハンドトラクター一台が設備されました。事業費は千五百万円、国、県、村がそれぞれが村負担となっています。

団体営草地開発整備事業

村では、現在使われていない荒無地、試験場跡の村有地を草地化し、優良品種の牧草を導入するとともに肉用牛生産の振興を図る目的で、団体営草地開発整備事業を進めています。

この事業は先に完成した肥育センターの関連事業で、地域内一貫生産体系の確立で所得の向上を図ろうというものです。管理経営主体は村農協。これは昭和五十六年度から五十八年度までの継続事業で、今年度は二年目にあたりです。

三年間で造成される草地は六ヶ所、その他通路整備七ヶ所、用排水三、六六五メートルが整備されます。総事業費は六千八百五十六万円で、うち五十%(三千四百二十八万円)が国補助、二十%(千三百七十一万二千円)が県補助、残り三十%(二千五百六十八千円)が農協負担となっています。

林道開設事業として開設された仲尾次尾山林道

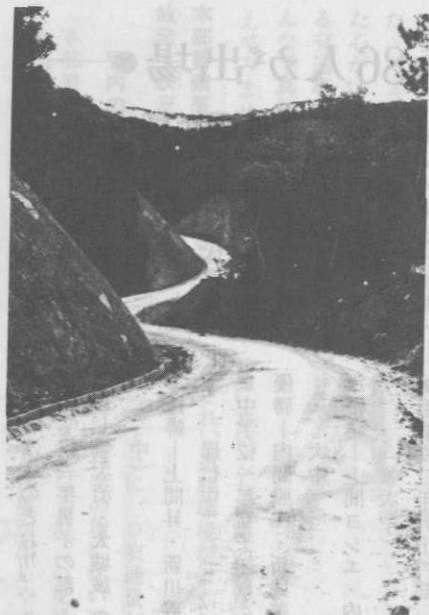
五十七年度村公共工事 入札状況

- 古宇利農道工事(五八〇メートル) 請負額 三千六百六十万円 請負者 武国建設
- 古宇利漁港突堤工事(二七・二メートル) 請負額 二千五百二十五万円 請負者 尙大一組
- 農村環境改善サブセンター新築工事(面積五一三・四四平方メートル) 請負額 七千九百九十五万円 請負者 島政建設
- 機械設備工事 請負額 八百万円 請負者 渡慶次電気工社
- 電気設備工事 請負額 一千五百二十万円 尙金良電化センター
- モデル事業農業道路(農道―運天二三五メートル、集排―与那嶺八八メートル)工事 請負額 一千三百九十九万四千円 請負者 尙国吉組
- ろ過池砂入替工事(湧川砂四〇〇立方メートル、諸志砂六四・二八平方メートル) 請負額 七五万円 請負者 山川電気工社
- 仲宗根地区簡易水道工事 請負額 四千六百八十六万六千円 請負者 新城組
- 中継ポンプ場新設工事 請負額 五百五十万円 請負者 尙今帰仁建設
- 仲尾次尾山林道開設工事 請負額 三千百万円 請負者 尙今帰仁建設
- 団体営草地開発整備工事 請負額 三千五百二十万円 請負者 武国建設
- 乙羽山林道改良工事 請負額 七百三十万円 請負者 尙北山建設
- 湧川ガジマンドー線改良工事 請負額 八百万円 請負者 真栄田建設



▶仲宗根地区簡易水道工事

- 越地線改良舗装工事 請負額 二千六百三十万円 請負者 島政建設
- 謝名玉城線道路改良舗装工事 請負額 二千八百九十四万円 請負者 尙孝夫組
- 林業振興特別対策事業 請負額 一千万円 請負者 嘉陽組
- 古宇利排水溝流末処理工事 請負額 百万円 請負者 武国建設
- 呉我山中継ポンプ場フェンス工事 請負額 四十一万円 請負者 前田鉄工所
- 湧川運天線道路改良舗装工事 請負額 千二百三十万円 請負者 尙北山建設
- 今帰仁中央線道路改良舗装工事 請負額 二千八百万円 請負者 尙国吉組
- 今帰仁城跡志慶真門遺構修景工事 請負額 百十万円 請負者 尙美樹園



林道開設事業として開設された仲尾次尾山林道

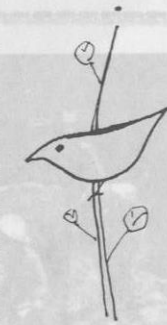
86人が出場 盛り上った庭球選手権大会

村体協主催による「第三回庭球選手権大会」が、二月十三日午前九時から北山高校体育館、湧川小中体育館の両会場で行われた。大会は、年々盛んになる庭球の普及と技術・マナーの向上を図ろうというもので、中学校各学年別男女・高校男女・一般男女別によるダブルスで試合が展開された。出場者も前回は上回る四十三チーム（八十六人）となり、コートには熱っぽい歓声が響きわたった。学年・男女別の優勝並びに準優勝は次のとおり。

- 優勝者は次のとおり。
- ※中学校一年男子の部 優勝—兼次治・大城誠（今帰仁中）
- 準優勝—上間昇・新川義明（今帰仁中）
- ※中学校一年女子の部 優勝—内間照江・新城美幸（兼次中）
- 準優勝—上間ヨシエ・内間隆子（兼次中）
- ※中学校二年男子の部 優勝—大城幸子・新城裕子（今帰仁中）
- 準優勝—金城智恵子・大城栄子（今帰仁中）
- ※中学校三年男子の部 優勝—宮里政有・嘉陽宗邦（湧川中）
- 準優勝—嘉陽直樹・津波古敦（湧川中）
- ※高校男子の部 優勝—上地孝夫・藤原昭夫（北農高校）
- 準優勝—津波古清順・上間昌幸（北農高校）
- ※高校女子の部 優勝—山城留利子・与那嶺ちか（北山高校）
- 準優勝—大城由美子・仲宗根幸代（北山高校）

川島・新城氏を招き ホッケー審判講習会を開催

沖縄県ホッケー協会（屋部和則会長）主催、県国体事務局・村役場主催による「第一回沖縄県ホッケー審判講習会」が二月五日・六日の両日、中央公民館並びに北山高体育館で開催された。この講習会は、昭和六十二年の第四十二回国民体育大会に向け審判員の養成、確保及び資質向上を目的として開催されたもので、村内外から関係者約五十人が参加した。講師には、川島銓（日本ホッケー協会理事）・新城茂充（日本ホッケー協会審判委員長）が招かれた。五日は午後三時から開講式に続き、約三時間にわたってビデオを利用した理論講習、六日は午前九時から午後四時まで理論・実技・質疑等を行った。村では、六十二年国体のサッカー開催地としてすでにサッカー教室などで普及を図っているが、中央から講師を招へいして



の本格的な研修会は今回が初めて、それだけに、参加した方々はルールの説明に熱心にペンを走らせたり、実際にステイックを使った実技講習に懸命に汗を流していた。

▲中央公民館での講義

村軟式庭球愛好会が発足

選手権終了後、午前六時半から役場ホールにおいて「村軟式庭球愛好会結成大会」が行われた。結成大会には約三十人が参加し、初代会長に与那登安さん（字天底二九八）を選出。また練習日程・練習場所など、今後の活動内容が決定された。同会では、今後毎週日曜日の午後二時から北山高校庭球場で練習を行うことにしている。なお、初心者も大歓迎—と、多くの方が参加するよう会では呼びかけている。

- ※一般男子の部 優勝—知念浩・長田富士男（湧川）
- 準優勝—嘉陽宗敬・嘉陽早志（湧川）
- ※一般女子の部 優勝—上間真由美（与那嶺）
- 準優勝—上間清美（与那嶺）
- 仲尾次賀代（今泊）

泣いてます あなたの家族が友人が

死亡事故が前年の三・五倍に 本部署管内

本部警察署（西里俊夫署長）では、このほど「管内における交通事故発生状況と事故防止対策」をまとめた。内容を見ますと、交通量の増加に伴い、発生件数・死亡者・重傷者も年々多くなる傾向のようです。交通事故防止は警察の指導取締りだけでは困難であり、関係機関・団体・住民一人ひとりが認識を深め、積極的に協力してほしい—と同署では話しています。ちょっとした心がけで防げる交通事故。皆さんで真剣に考えてみませんか。



▲悲惨な事故も心がけ次第で防げます（写真提供＝本部署）

本部警察署管内における交通事故発生状況と事故防止対策

線道路とし、海洋博記念公園、八重岳、今帰仁城跡等の観光地や史跡をひかえ、観光やツーリング等を目的とした通過交通が増大する傾向にあります。また、離島の伊江・伊是名・伊平屋各等が要因となり、昨年は当署管内でも交通事故が激増しました。昭和五十七年中の当署管内における交通事故の発生状況は、

年度区分	昭和56年				昭和57年			
	発生	死者	重傷	軽傷	発生	死者	重傷	軽傷
本部	11	0	3	13	17	2	3	18
町	4	0	1	3	9	2	1	7
今帰仁村	4	1	1	2	3	1	0	2
伊江村	0	0	0	0	2	1	2	0
伊是名村	1	1	0	1	2	1	0	1
伊平屋村								
計	20	2	5	19	33	7	6	28

管内居住者が多い（七件のうち六件）こと等があげられます。増加傾向にある事故を防止す



▲経済課林務係 仲尾次春喜 ▲経済課農政係 上間恒章 ▲住民課戸籍係 小那覇安隆

今帰仁の農業

葉たばこ

シリーズ②

盛り上がる栽培意欲

葉たばこは、さとうきび等との輪作により、生産が行なわれ当村の主要作物の一つとなっている。

①葉たばこ生産のあゆみ 葉たばこは、「今帰仁たばこ」として名が知られ、旧藩時代から栽培されたようである。その歴史については、さとうきびに次いで古いものである。 大正七年までは、在来種が栽培され、繩にさして天井裏等に吊す自然乾燥法であった。

昭和九年に米葉（黄色種）が導入され、耕作組合を組織し、乾燥場を設置し、薪を燃やして乾燥した。当時の栽培区は八ヶ所、乾燥場十五棟、栽培面積二六・三ヘクタールであったが、沖繩戦で全て消滅した。

戦後は、これまでの専売制がなく、自由に栽培された。昭和二九年に、琉球煙草、オリエンタル、沖繩煙草の三社が創立されたことにより契約栽培となった。

昭和三十三年十一月に、「今帰仁村葉煙草生産組合連合会」が結成され、生産の復興をもたら

し、昭和三四年には、面積一〇四・三ヘクタール、乾燥場一二四棟、生産量百八十トン、反収一七三キログラムと大幅に増加した。しかしその後は年々減少し、昭和四七年の本土復帰の際には、専売制への移行については大きな不安があった。その結果、昭和四八年期においては、反収が二百キログラムと増加したが、栽培面積二十三ヘクタール、生産量四六トンと大幅に減少した。

その後は、村の増産対策と専売公社の指導に基づき、安定的な生産を維持してきた。又、葉たばこは、全量商品化できる作物で、収益性が高く、流通機構が整備されているので栽培意欲も盛り上がっている。

しかし、昭和五二年期より栽培面積の現状維持及び減反が行なわれ生産調整を実施している。ちなみに、昭和五七年度の生産状況を見ると、耕作人員は、前年より四人減の四三人、収穫面積は、前年より七ヘクタール減の四一ヘクタール、生産量は、前年より十六トン減の九三ト

ンとなっている。又、生産額も前年期より一千七百万円余減の一億六千万円余となっている。 ②葉たばこ生産の課題と方向 前述のようなこと等葉たばこ生産をとりまく厳しい情勢のなかで当面する重点課題と今後の方向をあげると、 ④合理的な輪作体系の確立と栽培技術の改善等により、品質及び生産性の向上を促進する。 ⑤既耕作区域内での産地の集約化、及び生産組織の育成強化を図る必要がある。

①合理的な輪作体系の確立と栽培技術の改善等により、品質及び生産性の向上を促進する。 ②既耕作区域内での産地の集約化、及び生産組織の育成強化を図る必要がある。 ③栽培から収穫までの機械化を一貫作業体系で実施できるように各種機械の導入を促進する。 ④各種作業の共同化の推進。 ⑤土壌分析調査に基づく適正施肥、高畦栽培の実施、移植期間の短縮等を図る。 ⑥良質堆肥の増産による地方の増産を図る。 ⑦作業場、貯蔵場等の加工処理施設の整備を図る。 ⑧常設取扱い施設の整備を図り、収納作業の近代化を促進する。……等がある。

（経済課農政係）

さとうきび 畦巾は4尺(1.2m) 以上にしよう!

Table with 3 columns: 畦巾 (cm), 刈取茎数, 蔗茎取量 (kg). Rows for 90, 105, 120, 135, 150 cm.

近年本村におけるサトウキビの栽培管理の問題点として「畦巾が小さい」と言うことが指摘されています。そこで「畦巾を大きくし、反収の増大を図るには、どのようにすればよいか」ということで二月二十一日、役場、農協、北糖、区長会等がサトウキビ管理協議会（山城正会長）を開催した結果、次のことが確認されました。 ① 畦巾を大きくしても反収の減少にはならず、むしろ増大している（表のとおり） ② 畦巾が小さいと、株出管理（耕耘機による根切、培土）ができないため、十アール当り約十五袋肥料を投入している。 ③ 畦巾を大きくすれば、株出管理が可能のため、十アール当り八袋で約二〇パーセント程度の増収が可能である（屋我地の例） ④ 近々、ハーベスター（収穫機械）の導入も検討されているが、その前に畦巾を大きくした栽培をしなければ導入できない状況にある。 ⑤ 特に株出における多肥は、株出管理（八袋）をしたサトウキビより反収は減少し、経費も多くなっている。またブリスが低下している、等です。 ところで、サトウキビの畦巾は必ず四尺以上にし、管理作業（株出管理）のできる栽培体系を確立しましょう。 また耕耘機を保有していない農家のため、管理作業が委託できる体制ができています。北糖督励員に連絡すれば、世話をしてくれるようになっていきます。 現在、株出管理の施肥又は培土を、十アール当り三千円程度」とのことです。



理想的な祭りを 行うにあたって

字平敷八八 大城千栄（六六歳）

はじめに

祖先崇拜は沖繩県民の古来からの美風だといわれ、祭りについても古来の慣習が厳然と続いている。昔と違い、親戚・知友の居住区域が広くなり、大焼香は別として七日祭（イミ焼香）の来客数が予測できず、色々と困惑した家庭が多いと聞く。

- 一、村内における祭りの状況
① 十六日焼香
② 十六日焼香
A 家族兄弟のみで行う部落
B 墓で家族と身内で行う部落
C 墓参の後、親戚知人等が家で

法事を営む部落

◎ 七日祭（ナンカまつり） 死後の祭りは、七日毎に親戚知友が集ってこれを行っている。初七日・ミナヌカ・イツナヌカ四十九日は重要視し、二・四・六はマド七日といつてほとんど家族だけで済ましている。その祭りは各部落似かよっている。

二、村内香典料の概要

香典料も村内まちまちで、ある部落では七日祭五百円で香典袋に入れない。ある部落は千円。告別式もまちまちで普通千円と云われているが、他部落には二千元しないといけないのではないかと、問い合わせられている状況である。

三、お供物と香典返し

村内各部落まちまちである。 ①ある部落では、お菓子約三種類と餅・おかず等をお供えのウサンデーにする。また餅・お菓子・おかずを別々の折箱に入れて客を接待し、香典返しがある。 ②ある部落では、お供物は大差がないが、客の接待は茶菓子程

度にし、香典返しがある。

◎ある部落では、茶菓子のみで香典返しもない。最近香典返しはやるようになった。 四、県内市町村における祭りの状況（三例を参考までに） ①某村で知名度の高い家庭で母が亡くなり、初七日に焼香に行つた。知友や隣保班の人は午前中か前日に焼香しているの、当日は家族と兄弟身内が午後集まり三時頃全員揃って墓参し、帰宅後静かに祭りをしていた。 ウサンデーも茶菓子程度で、孫達には亡くなられた人の生前の話しを聞かせていた。勿論香典返しもなかった。

◎某市で友人の父が亡くなり焼香に行つたら、茶菓子程度のつまみと、子ども用のお菓子が香典返しになっていた。 ③某市では以前は折箱に入れて香典返しもあったが、今では婦人会の申し合わせという事で、お茶菓子程度のつまみと香典返しがあった。

五、祭りをを行う家庭の状況

大焼香は前もって連絡し人員の掌握はできるが、七日祭は米客数が予測できない。特に現在は親戚知友が各地にまたがり、何日目の祭りに来るかさだかでない。会社や多人数の職場に勤めている場合はなおさらである。 お供物のウサンデーが茶菓子程度なら問題はないが、お菓子・餅・おかず等折箱に入れてお客さんにあげた後、思いがけなく団体又は知友が多勢来られた場合、家庭の主婦は困るだろう。 それとは対照的に、多数の親戚知友が来宅される予想でご馳走を準備したら、当日生憎台風になり難島や村外から来れず、ご馳走の処理に困つたということも度々聞く。今では食物が豊富のせいか、子ども達は祭りの菓子・餅・おかず等はあまり好まないようである。

むすび

紙面の都合上、他市町村、村内の祭りの実態について詳細に述べることはできなかったが、親しい人々が集まり、死去された方の往時をしのび生前の活動状況や想い出話をする静かな祭りができるものかと思う。 とりあえず大焼香は別として、七日祭、十六日祭りは、村内各

このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。 村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。 なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所氏名、職業を添えて下さい。 ※あて先 今帰仁村字仲宗根二一九 村役場総務課秘書広報係 (TEL) 二一〇一

古文書への招待

薩摩軍の今きじん通過記録 ②

読者へのお答え

前回、琉球侵入準備に関する文書として「軍衆法度之條々」を紹介したところ、村民のある方から「あれほど厳しい軍律が定められたのだから、その軍隊が無謀をするはずはないのではなか、沖縄戦やウエトナム戦争を引き合いに出して、筆者の軍隊批判はいい過ぎてはないのか、とかく負けた側は相手を悪くいうものだ」というご意見を聞きました。ある意味では大切な指摘なのですが、紙面の都合上、差当り次の二つの資料をあげておきます。

一、現在の奄美大島、名瀬市内朝戸というところでは、機織りをしていたダンネンチヨという女性が、薩摩兵によって殺害されたという伝説があること。
 一、「旧記雑録」の編さんに従事し、薩摩藩政末期における最大の歴史家といわれた伊地知季安の著書「南聘紀考」には、琉球入りについての記述の中で、

「この役、将士すこぶる軍令を犯す」と批判していること。さて、この回は予定にしたがって「寛」です。「法度」が軍兵に対する一般的な軍令であるのに対して、これは総大将への軍事方針ともいうべき性格をもっています。

薩摩軍の編成については、後に触れるとして、ここでは総大将は樺山権左衛門尉久高、副将は平田太郎左衛門増宗とだけ記しておきます。この首脳に対して、藩主島津家久(別名羽柴陸奥守家久)はどのような指令を与えたのでしょうか。
 読み下しは、対照して原文を味わっていただくために、前号のように原文の下に配します。

大意および多少の註記

「寛」一、琉球側から和議を申し入れてきたら、論議の余地なく、直ちに藩当局へ相談すること(現地で勝手に事を運んではならない)。一、和戦どちらにしても、運よく事が済んだら、少しもとどまらず、出来るだけ早く切りあげ、六・七月ころには軍隊を引き揚げることに、琉球国王以下の歴々をはじめ、島々の長官まで人質として薩摩へ連行し、琉球今後の諸問題については藩の方で決定する(今後の問題は軍事行動の範囲を越える政治問題である)。一、もしも、琉球国王がその居城に立てこもり、ながく籠城の様子と見定めたら、全部焼き払って空ろ城とし、人数少しも容赦なく引捕え、附近の島々の者まで人質をとり、手中に収めて帰陣すること(琉球側の出方によっては仮借するな)。一、軍兵の食糧は現地で調達すること。ただし、琉球側の従来より軽くするよう心せよ(一般民衆に対しては悪い印象を与えないように)。右の條々、変更することがあつてはならない。

この「寛」は、軍事行動に対する藩からの公的指令書ですがそれにそえて、藩主から総大将へ直接宛てた文書があります。通常、抽書とも副書ともいわれますが、少しもとどまらず、出来るだけ早く切りあげ、六・七月ころには軍隊を引き揚げることに、琉球国王以下の歴々をはじめ、島々の長官まで人質として薩摩へ連行し、琉球今後の諸問題については藩の方で決定する(今後の問題は軍事行動の範囲を越える政治問題である)。一、もしも、琉球国王がその居城に立てこもり、ながく籠城の様子と見定めたら、全部焼き払って空ろ城とし、人数少しも容赦なく引捕え、附近の島々の者まで人質をとり、手中に収めて帰陣すること(琉球側の出方によっては仮借するな)。一、軍兵の食糧は現地で調達すること。ただし、琉球側の従来より軽くするよう心せよ(一般民衆に対しては悪い印象を与えないように)。右の條々、変更することがあつてはならない。

歴史的状況

沖繩では、尚寧王二十一年、今帰仁城は北山監守第五代尚克社が在勤中。当時首里王府は大國明に依存し、日本の政治状況について緊迫感稀薄だったようです。明から問われれば「神女ヲモツテノ故」安心と答える程度です。

日本ではどうでしょうか。九年前、慶長五年(一六〇〇)の関ヶ原の戦で、徳川家康は豊臣方に圧勝しましたが、その身分

ですが「寛」と一対をなすと考えるべきです。これによって、「寛」を行使する総大将の資格証明書の意味をもたせる、いわば「お墨つき」ともなります。このたびは、琉球渡海、ご苦労のこと、筆や紙に述べ難いことである。ついでには彼の地における軍事方針および軍令を(特に)龍伯様、惟新様の御意見もいれて定めた。そのほかに問題があるようなら兵部少(家老、伊勢兵部少輔貞昌のこと)へ申し伝えてあるので、よくよく相談するようにせよ。

以上、読者も感じられるように「法度之條々」に比較すると峻烈の二字につける、背筋の寒くなるような処分方針です。

沖繩では、尚寧王二十一年、今帰仁城は北山監守第五代尚克社が在勤中。当時首里王府は大國明に依存し、日本の政治状況について緊迫感稀薄だったようです。明から問われれば「神女ヲモツテノ故」安心と答える程度です。

寛

- 一 琉球よりありい城へ入り、其儀儀其節可有後合事
- 一 いはまのみちにも利運、相済め、おもて送る早々軍充
- 一 六七月は法不可門取事
- 一 琉球暦々の人質其外島の頭々乃右近質人と取て
- 一 南國へ引こし琉球向後の法儀儀おひ方可有合事
- 一 自然琉球國王居城。取籠るか城城かくことあるい、
- 一 悉焼けらひし城計成人殺す者たれしを門取事
- 一 づりの為の老人質をえまに付てて力御陣事
- 一 兵糧米たさめさせし本は中琉球人の戸付しる
- 一 よりいっふもか訴くたさせし屋き事

右條々不可有違有る也

慶長十四年三月

樺山権左衛門尉殿

樺山氏藏書

今度去琉球渡海辛勞の段、筆紙に述べ難く候。仍て彼の表、法度の儀、龍伯様、惟新様、御意を得、相定め候。其の外、心持入るべき儀共、兵部少へ申含め候。熟談簡要たるべく候。謹言。

久高

龍伯

惟新

其外心持不可有違有る也

作陣

慶長十四年

三月四日

樺山権左衛門尉殿

家久

読み下し

寛

一、琉球より、あつかいを入れ候はば、異儀無く其の筋に談合有るべき事。
 一、いづれのみちにも、利運に相済み候はば、少しも逗留無く早々軍衆六、七月のころは引き取るべき事。
 一、琉球暦々の人質、其の外、島々の頭々の者迄、人質を取り候て当国へ引こし、琉球向後の諸役儀、此方に於いて相定むべ

ます「寛」と一対をなすと考えるべきです。これによって、「寛」を行使する総大将の資格証明書の意味をもたせる、いわば「お墨つき」ともなります。このたびは、琉球渡海、ご苦労のこと、筆や紙に述べ難いことである。ついでには彼の地における軍事方針および軍令を(特に)龍伯様、惟新様の御意見もいれて定めた。そのほかに問題があるようなら兵部少(家老、伊勢兵部少輔貞昌のこと)へ申し伝えてあるので、よくよく相談するようにせよ。

三月四日

家久(花押)

樺山権左衛門尉殿

註①和議を申入れること。

②もしも

③従来から

④伊勢兵部少輔貞昌(薩摩藩家老(当時藩内では老中と称した))

村文化財保存調査委員

村上 仁 賢

若き後継者たち

9

葉たばこ・菊づくりにも励む 謝名の国吉勝美さん

今回は、両親を助け葉たばこ、菊、グラジオラス栽培に励む、国吉勝美さん（字謝名一二五、二十四歳）を紹介しましょう。勝美さんは、国吉宗定・美江



「青春時代のあこがれ」（本人談）で東京へ。東京では四カ年間運送業にたずさわった。帰省し本格的に農業を始めたのが昨年五月。まだ一年に満たないが、すっぴん農業の魅力にとりつかれ「今の仕事から逃げたい」と、並々ならぬ意欲をみせている。現在、両親とともに、葉たばこ三千坪、電照菊千坪、グラジオラス五百坪を栽培し、例年今頃はもつとも忙しい時。訪れた日も、葉たばこの植付準備に追われていた。また菊の出荷最盛期とあって、友人を助けるために作業は深夜におよぶこともあるという。その仲間十三人で、「謝名営農同志

会」を組織。ほとんどが花・菊作りの二十代・三十代の若者で、月一回の定例会で栽培の学習や技術交換に努めている。会での楽しみはカラオケとか。自分たちで機具を購入したほどの熱の入れようで、酒が入ると一段とにぎやかに。

国吉家は、村内でも中核農家として機械化・近代化は著しいものがあるが、将来の希望について勝美さんは「今は精一杯頑張るだけ」と一言。多くは語らないが、着実に歩みたいという気持がそこにあらわれている。宗定さんが、村の農業委員、字の区長を勤めている関係もあって、美江さんは「息子だけが頼り」と、本気ともつかない冗談をとぼす。それだけに両親の期待は大きく、宗定さんも安心して公職に専念できるのだという。

「東京にいる時より毎日が充実している」という勝美さん。それもそのはず、この四月には結婚すると後で聞かされた。これまで軽快に喋っていた本人も、相手についてはノーコメント。四月までのおあずけとなった。良き伴侶を迎え、仕事もますます充実することだろう。写真―葉たばこの植付準備をする国吉勝美・美江さん母子

培われる思いやりの心 子ども会の活動活発に

村教育委員会主催による「第一回今帰仁村子ども会発表会」が、二月十九日午後二時から中央公民館で行われた。子ども会は、集団生活を通して心身をきたえ社会への適応力を養おうという組織で、これまで湧川、天底、仲宗根、今泊の四カ字で結成され、自主的に活動している。発表会には、子ども会員や今後結成予定の字の児童、父兄など約百二十人が参加。その中で、湧川の玉城みか、安田智治さん、仲宗根の金城ひとみ、伊良波詔子さん、今泊の与那嶺小百合、金城幸栄さん、天底の謝花文子、大城咲さんが、実績を発表した。また仲宗根育成会長の大城茂徳氏より「活動の成果と今後の取組について」の報告がなされた。



その中で三輪氏は活動の成果として「自主的に活動し発表できるようになった。下級生に付いたわりの心を持つようになった」ことなどをあげた。さらに指導助言者の宮里博輝氏（国頭教育事務所社教主事）は、発表の素晴らしさを評価しながら育成会については「指導者の掘りおこしと、大人がまず学んでほしい」こと等を指摘していた。教育委員会では、子ども会の活動や成果をふまえ、来る四月中にも他字について結成を働きかけることにしている。堂々と活動内容を発表する子ども会の皆さん

所得税・贈与税の納税は3月15日まで

昭和五十七年の所得税・贈与税の申告と納税はもうお済みでしょうか。申告と納税の期限は、どちらも三月十五日です。なるべく早く、必ず期限内に済ませるようしましょう。申告をしなければならぬ人が三月十五日までに申告をしなかったり、正しくない申告をしたりしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、不足税額

ますます増加する交通事故

家族ぐるみで加入しよう交通災害共済

沖繩の全町村では、町村交通災害共済組合を設立し「交通災害共済事業」を実施しています。この制度は、交通事故による死傷者が激増していることから被災者の窮状を救い、経済的損失を多少ともくいとめるため、加入者一人一人が相互扶助協力の精神に基づき見舞金を送るという制度です。村内の五十七年度の加入者は六八六人で、全人口の六・九%と加入率が低いのが現状です。共済趣旨に賛同いただき、是非加入するようおすすめします。〈会員の資格〉

つき最高百万円まで保証。〈共済期間〉毎年四月一日から翌年三月三十一日まで。四月一日以降加入する方は、役場で申込を受理した日の翌日から共済期間満了日

場総務課か沖繩県町村交通災害共済組合（〇九八八―六七―一八〇六）へお問い合わせください。なお、くわしい内容等につきましては、役場

募集しています

昭和五十八年度県政モニター。県では、県の仕事に対する意見や要望・提言などを広く県民の皆さんから聴取し、県政推進の参考にするため、県政モニターを募集します。■応募資格―県内に住んでいる満二十歳以上の方（公務員除）■モニターの任務―県政全般について意見や提言を随時寄せていただき、年二回程のアンケートに答えていただきます。■応募方法―官製ハガキを用いて①住所②氏名（ふりがな）

国民健康保険被保険者証の検認について。左記の日程により、国民健康保険被保険者証の検認を行いますので、被保険者は印鑑と保険証を持参して各字公民館へおこしください。なお、あわせて保険婦による健康相談も行いますのでご利用ください。



謝名区長 国吉宗定

月・日	曜日	午後9時～12時	午後1時～4時
3・8	火	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	泊志次敷名山川底天利仁根
3・9	水	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	尾 我 宇喜宗
3・10	木	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今諸仲平謝興湧天連古渡仲
3・11	金	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	泊次嶺山山城川底天利客根
3・12	土	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	那 那 運宇理宗
3・13	日	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・14	月	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・15	火	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・16	水	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・17	木	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・18	金	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・19	土	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・20	日	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・21	月	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・22	火	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・23	水	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・24	木	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・25	金	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・26	土	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・27	日	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・28	月	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲
3・29	火	今兼与崎越玉湧天上古勢仲	今兼与崎越玉湧天上古勢仲

なきじん版

3月1日～4月1日

村民カレンダー



3/1 火	○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
2 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
3 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館)
4 金	
5 土	
6 日	○少女バスケットボール大会 (9:30、湧川小中体育館) ○親子映画劇場 (14:00、中央公民館)
7 月	○区長会 (14:00、役場2階研修室)
8 火	○ちぎり絵教室 (17:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
9 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
10 木	○人権相談 (10:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、謝名公民館) ○生花教室・乳幼児学級 (14:00、中央公民館)
11 金	
12 土	○ホッケー教室技術研修会 (13:00、村営グラウンド)
13 日	○茶道教室 (14:00、中央公民館茶室)
14 月	
15 火	○村公連役員会 (15:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
16 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場)

17 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館) ○精神デイケア (14:00、中央公民館)
18 金	
19 土	
20 日	○各中学校卒業式
21 月	○春分の日
22 火	○区長会 (14:00、役場2階研修室) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館) ○体育指導委員会 (18:00、中央公民館)
23 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
24 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館) ○生花教室 (14:00、中央公民館)
25 金	○農業委員会定例会 (10:00、役場2階研修室) ○DPT子防接種 (13:00～14:00、役場ホール)
26 土	○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場)
27 日	○茶道教室 (14:00、中央公民館茶室)
28 月	
29 火	○子ども映画劇場 (14:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
30 水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○乳児健診 (13:00～15:00、役場ホール)
31 木	○健康体操 (20:00、謝名公民館)
4/1 金	

のセリフは如何にも風流ですが、裏腹に、現実には深刻な事態です。

■二月十九日、二十日行われた市郡対抗沖縄一周駅伝大会で、国頭郡が見事初優勝。その原動力となったのが村出身選手と北山高生徒たち。駅伝王国今帰仁の面目躍如といったところです。

■国の財政措置により、人勧凍結、福祉切り捨て、地方交付税の削減と、年々厳しくなるばかりの地方財政。それにしても、防衛費だけ突出する現実をどう受け止めれば良いのでしょうか。

■来月から新年度。次回の広報では五十八年度の村の予算、主な施策、公共事業について紹介したいと思います。お楽しみに。

編集後記



■三月、弥生。花咲月・花見月は桃の節句と、花ほころぶ春の様が窺える今日この頃です。

■例年になく長雨で、冷たい日が続きました。この雨で泣かされたのは農家と土木関係者ではなかったでしょうか。芝居に出てくる「春雨じゃぬれていこう」